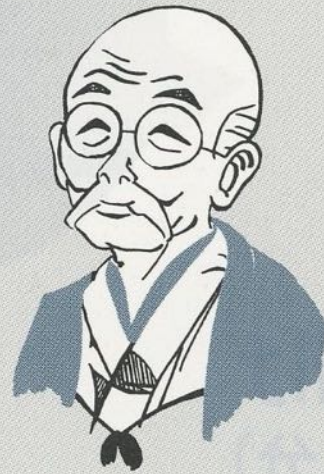


# 偉人 坪内逍遙

⑰

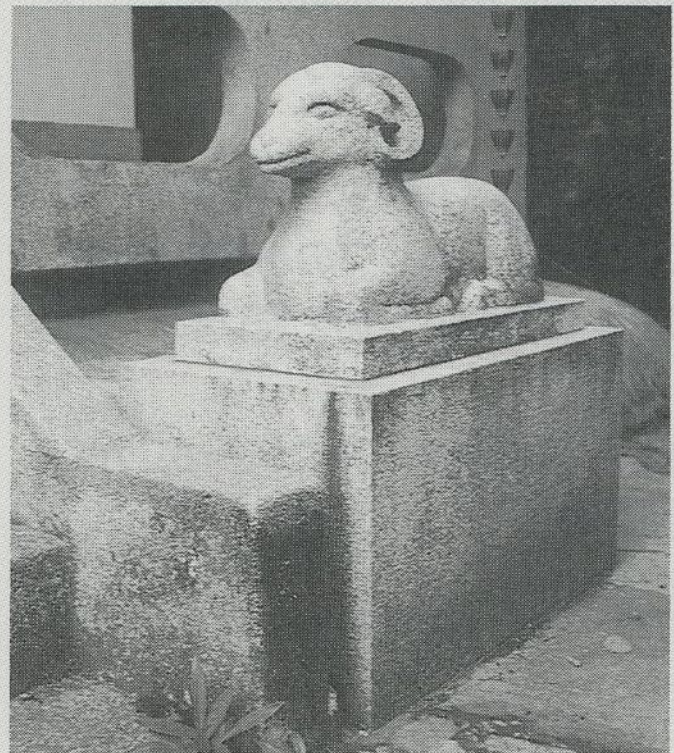


しょう よう  
小 羊

逍遙の性格は、寛大で情が厚く、涙もろい一方、厳格で冷たく近寄りにくく、気難しいところがありました。新しいものを好み、古いものを嫌いました。文学、演劇、教科書の編さんは我流で、まねることを嫌い、常に革新を目指していたのです。

逍遙とは、道家思想の代表著書である「莊子」の中の句から引用しました。そこらをブラブラ歩くという意味があります。また、生まれ年が未年のため「小羊」ともいい、羊のおもちゃを集めるのが趣味だったようです。

逍遙は、幼名を「勇蔵」と名付けられました。しかし内気で弱気な性格だったので、自分とかけ離れた性格の「勇」の字を嫌い、「雄蔵」と改名しています。



▲熱海市双柿舎前のひつじの像